

## 株式会社謎組

### 2023年冬開催を発表 前代未聞の謎解き体験イベント ノンフィクションゲームの秘密

謎解きイベントの活況ぶりは目覚ましく、観光地、テーマパーク等での開催にとどまらず、オンラインやTV等主要メディアでも積極展開されるなど裾野はなお広がり続けている。国内の謎解き市場黎明期から活動する「株式会社 謎組(以降、謎組)」は今年で設立11年目。これまで虚実を行き来する不可思議な体験を多数生み出してきた。その謎組が今冬、前代未聞の謎解き体験イベント「ノンフィクションゲーム(以降、NFG)」を仕掛ける。同イベントの秘密について、謎組制作ディレクターの常磐昂氏に聞いた。

(取材・構成 本多繁紀 本誌ライター)

#### そのゲームは事実か虚構か

NFG、実に耳馴染みのない言葉だ。謎組の常磐氏によると、「ノンフィクション」とは事実に基づいたストーリーや情報を表す言葉である一方で、「ゲーム」には虚構という意味合いが暗に込められている。つまり当イベントの参加者は、事実か虚構かがはっきりとは明示されていない曖昧模糊とした世界観の中へと分け入っていくことになるのだという。

#### 未解決事件をベースにした異色の制作プロセス

今回、常磐氏はベールに包まれているNFG制作プロセスの断片を明かしてくれた。全ての発端はTwitterだ。読者の中には一連の投稿を目にした方もいるかもしれない。2022年8~9月にかけて、謎組はTwitter上で「未解決事件情報」の提供を求めた。関東圏の事件(刑事事件を除く)限定/些細な出来事でも可/情報提供者の秘密厳守、こうした条件下で収集された情報の詳細は当記事ではもちろん明かせ

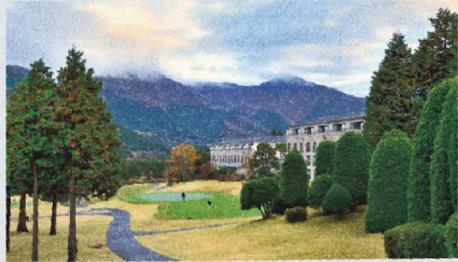
ないが、謎組は募集終了後、極秘裏に情報提供者への直接インタビューや某探偵事務所への協力依頼を仰ぐなどして、ある未解決事件についての綿密な調査を進めたという。この実際に起こった事件の顛末が、果たしてNFGにどのように絡んでくるのか。この先の展開はイベント参加者のみが見届けられる。

#### 系譜を継ぎ、体験を進化/深化させる

——NFG第一弾となる本イベントは、謎組が取り組んできた体験の流れを汲み、その延長線上にあるものだ。常磐氏はこう念押しする。

ナムコとコラボし、街中の公衆電話を使って誘拐犯と交渉する推理カフェNAZEDA、架空の事件を報じる号外を全国書店に配布したe-honミステリーキャンペーン、現実とリンクした小説に没入する本と歩く謎解きの夜といったイベントは、謎組独自の虚実を曖昧なものとする体験事例として挙げられるだろう。

満を持してと言うべきか、今回はついに虚構の枠を逸脱し、現実が起こった未解決事件を題材にするのだ。いわゆるARG※の要素も取り入れ、謎解き体験が更なる進化/深化を遂げる新時代の扉が開こうとしている。本イベントには食事体験との驚きの融合も用意されており、「五感の駆使が求められる一級品」と言い切れる仕上がりだ。未知に満ちた斬新な体験を、ぜひ自らの感覚を解き放って目撃してほしい。



西洋の古城を思わせる箱根仙石原プリンスホテルで、  
前代未聞の体験が待ち受けている

**ノンフィクションゲーム(タイトル未定)**

開催地 箱根仙石原プリンスホテル(神奈川県)  
開催期間 2023/1/13~3/31

※ARG…Alternate Reality Game (代替現実ゲーム)の略。日常と物語空間とが交差し、能動的に動いてアクティブな物語を体験するゲーム。